

研究所だより

第368号
2016年 12月 8日
発行：土佐清水市教育研究所
TEL 82-3015

“おおさむ こさむ 山から小僧が泣いてきた
なんといっぺ泣いてきた 寒いといっぺ泣いてきた
おおさむ こさむ おおさむ こさむ”
日本の童謡・唱歌 『大寒小寒』



☆第5回教研推進委員会（委員長：岩井先生）の報告

6日（火）に第5回教研推進委員会が開催されました。協議内容を報告します。

1. 半日教研の総括について（下記の授業、部会・地区別総括参照）

①日程

- ・良かった。
- ・日程に時間的余裕があったので、充実した話し合いができた。
- ・作品作り（文化展）が一段落したこの時期で良い。

②時間構成

- ・授業研もあるので〈13:30〉スタートが良い。
- ・授業研のある部会は、開始時間を揃えたのが良かった。
- ・下校指導の関係で慌ただしいが、授業もあるので仕方ない。
- ・時間調整など学校で対応できるところは対応したらどうか。

*平成30年度4月から給食が実施される予定なので、開始時間については今後検討する。

③その他

- ・どの部会も授業研ができ勉強になった。
- ・時間いっぱいどの部会も研修できた。
- ・小中の教員で、同じ教材について研究協議ができるのが意義深い。
- ・各部会開催要項に「学年組、題材、教室、協議会場、駐車場等」を明記することを、「各部長・研究協力校代表者会」で再度徹底する。

2. 平成29年度市教研の日程について

- ・組織教研 4月19日（水）
- ・一日教研

①期日： 8月22日（火）午前—①模擬授業 ②開会行事 ③講演会
午後一部会別研修会

②会場：土佐清水市中央公民館

③講師：菊池省三 先生（教育実践研究家）

- ・半日教研 11月 8日（水）

＝各種提出物締切日＝

○部会決算報告締切

期日：12月19日（月）

○総括教研部会報告書

期日： 1月27日（金）

○事業実績報告書

期日： 1月27日（金）

○研究集録原稿

期日： 1月27日（金）

<土佐清水市教育研究集会・半日教研特集>

11月9日（水）に各教科部会研究授業を主体に半日教研が開催されました。それぞれの部会で授業や日々の実践等について活発な意見や情報交換ができたものと思われます。下記に算数・数学、音楽、家庭、人権教育部会の授業実践と各地区からの感想・意見等について報告します。

～授業風景～

【算数・数学】

〔内容〕

- ・清水小 5年2組 岩井 圭先生
研究授業 「比べ方を考えよう」
1：30～2：15
- ・授業検討会及び実践交流会
2：25～3：50
- ・教具作り 4：00～4：45



〔授業検討会及び実践交流〕

- ・児童は、落ち着いた授業態度で、時間いっぱい学習に取り組んでいた。
 - ・グループでの話し合いなど、学習形態に変化があって良かった。
 - ・ポイントを押さえた導入で、予定通りの時間で自力解決に入れた。
 - ・とも学び（練り合い）の場面で、説明する児童に対して、「説明するポイント」を提示していて良かった。本時のめあてに向かって、必要な算数用語が活用できるよう、掲示物を用意して提示することを取り入れると良い。
 - ・小学校の授業は指導が丁寧である。学習態度も良い。中学校へそれをつなげたい。
- ◎時間配分について
1時間の中で、めあてとまとめをしっかりと提示して確認するとともに、練習問題や振り返りまでを確実に行うことが、学力向上を目指す上で求められている。清水小の本年度の取組として、さらに、「算数日記を書く」という授業実践が行われている。今日の研究授業でも、練習問題→答え合わせ・振り返り→算数日記まで行っており、時間配分がしっかりと授業の中でできていた。本時は、よく研究授業に取り上げられる内容であるが、1時間の中できっちり終わらせるのは難しい内容である。日々の授業の中で、児童の学習へのスピード感も育っている。

◎単位当たり量の指導について

小2のかけ算から始まって、小学校の算数科の指導内容として大変重要な内容である。児童は、ウサギー匹当たりの小屋面積・1㎡当たりの匹数の両方から立式できていた。ただ、人口密度の際の学習を考えると、まとめや練習問題では、1㎡当たりの匹数でのやり方にしぼると良かったのではないかと。今回、5年2組では、比の考え方（一方を1と見る・もととする）での解答は見られなかった。しかし、中学校の数学での問題解決では、単位量当たりの考えではなく比を用いて解決する場合は殆どになるそうである。小中それぞれの指導内容のちがいがいなども出し合え、小中連携が図れることが、算数・数学部会になってから可能になった。

◎学習過程における対話の持たせ方

本時は、自由に立ち上がって、グループを作って2～4名ほどでの対話を行っていた。短時間での対話なので、となり同士2名でのペア対話でも良かったのではないかと。本時のねらい、学級の雰囲気や人間関係、人数など、様々な状況で対話活動を行うので、この形式がよいとは決められない。その都度、効果的な形式を考えて、マンネリにならないように工夫していく。

◎数の処理（分数⇔小数）

中学校では、解を仮分数で表現する。小学校では、仮分数を帯分数に直せる力をつけることも大切だが、仮分数表現や $2 \div 3 = 2/3$ とできる力もつけておく。

〔教材作り〕

- ・授業に活用できる掲示物の作成を行った。
式・答え・めあて・まとめ・考え方・図・和差積商・公式など算数科の基本的な言葉の掲示物と、数直線・線分図・テープ図など手がかりとなる図を作り、ラミネートして繰り返し使えるようにした。
授業の際の板書の時間短縮とともに、児童がそれらを活用して、自らの考えを図で表現する場合の活用についても意見交流を行った。

【音楽】

〔内容〕

1. 公開授業 清水小学校4年1組 28名
授業者 小花真里先生
題材名 「楽器の音色を感じ取ろう」

2. 授業反省

- ・担任から
音楽が大好きな児童で、楽しんで授業に参加している。「楽器の音色を感じ取ろう」というテーマで、感じたことを体で表現したり、言葉で表したりしながら味わう活動を中心に計画した。取り上げた曲「剣の舞」は5年生の内容であるが、木琴の特徴的なメロディーを聴きながら集中して色々な活動に取り組むことができた。
- ・参観者から
とても素直で明るい雰囲気作りができていた。児童は授業の始めの歌や最後の合唱曲でよく声を出して歌っていた。また、鑑賞曲のメロディーをすぐに口ずさむことができており、日頃の取り組みのすばらしさを感じられた。
授業の中で、『エア木琴』をしながら体を動かし、全員が楽しく曲を感じながらそれぞれの表現をしていた。映像を見せたり、動きをつけたりして鑑賞教材の指導方法に工夫がなされていてよかった。話し合い活動を取り入れたことも良かった。

〔実践交流〕

- ・音楽科における言語活動の育成について
- ・各校の個に応じた学習形態、教材の選定
- ・鑑賞教材の指導方法

〔情報交換〕

- ・音楽交流会や音楽行事に向けた練習について
- ・教材の紹介

【人権教育】

〔内容〕

- ・研究授業と協議
公開授業 清水小学校4年2組
題材名 「あなたの大切なものは」
授業者 溝渕紀仁先生
- ・指導案再構築
各校で作直した指導案で授業をすることを確認。来年度以降も研究授業後、指導案



を練り直し財産として積み上げていく。

- ・授業の題材を参加者でワークショップを行う。

〔情報交換〕

- ・各地区解放文化祭や、土佐清水市人権フェスティバル、各種人権講演会や研究発表へのできる範囲での参加や協力、各校での参加呼びかけを行うことを確認。
- ・幡多地区人権フェスティバルへの参加要請

【家庭科】

〔内容〕

- ・研究授業と協議
清水小学校6年1組 「小物作り」
授業者 助村紗恵先生
日本てぬぐいを利用して、あずま袋を縫う。

〔情報交換〕

- ・裁縫について
普段から、裁縫に触れていない児童が多い。
いかに、授業の中で針と糸に慣れさせていくのかなど意見交換をした。



～半日教研地区別総括～

1. 日程について

〔西部（下川口小・三崎小）地区〕

- ・作品作りの一段落したこの時期でよい。
- ・良かった。

〔半島（足摺岬小・中浜小）地区〕

- ・良かった。
- ・日程に時間的余裕があったので、充実した話し合いができた。
- ・文化展で忙しい中ですが、あまり遅くなくても学期末になるので授業者の負担にならないのであれば、この時期で良い。

〔東部（下ノ加江小・幡陽小）地区〕

- ・妥当

〔中央Ⅰ（清水小）地区〕

- ・特になし。

〔中央Ⅱ（清水中）地区〕

- ・特になし。

2. 時間構成について

〔西部（下川口小・三崎小）地区〕

- ・授業がある部会もあるので、1：30開始でよい。
- ・時間いっぱいどの部会も研修できた。
- ・良かった。



〔半島（足摺岬小・中浜小）地区〕

- ・良かった。
- ・研究授業をやることが望ましいと思う。

〔東部（下ノ加江小・幡陽小）地区〕

- ・妥当。

〔中央Ⅰ（清水小）地区〕

- ・午後日程でよい。
- ・公開授業をした部会が、開始時刻をそろえたのが良かった。



〔中央Ⅱ（清水中）地区〕

- ・適切である。良かった。
 - ・もう少し遅く始めても良いのではないか。
- 研究授業の関係もあり難しい所である。

3. その他

〔西部（下川口小・三崎小）地区〕

- ・どの部会も、授業研ができ勉強になった。
- ・授業研や情報交換等で学力向上に向けた小中連携ができて良かった。

〔半島（足摺岬小・中浜小）地区〕

- ・一つの会場に複数の部会が集まると駐車場に困る。
- ・研修の中に、授業研があって良かった。
- ・今年度清水小で教育課程拠点校事業の発表がありますが、半日教研を合わせることはできないだろうか。（趣旨が逸れるかもしれないが、有意義であると思う）

〔東部（下ノ加江小・幡陽小）地区〕

- ・中学生向きの内容だったが、子ども達はとても楽しかったようである。（情報）
- ・講師の先生の話が良くて参考になった。（教育相談）
- ・内容は良かったが、時間が足りなかった。（理科）
- ・各部会充実した研修ができた。

〔中央Ⅰ（清水小）地区〕

- ・小中の教員で、同じ教材について研究協議ができるのが意義深い。
- ・公開授業をされた先生方、ご苦労様でした。

〔中央Ⅱ（清水中）地区〕

- ・ジオパークについて研究員さんとフィールドを実際にめぐりながら教材づくりを進めることは、深い学びの場になっています。来年以降の教材活用にわたって研修を進められれば申し分ないです。
- ・小学校の現状、履歴内容について情報を得ることができて良かった。
- ・様々な会が行われるようになり負担感も大きいですが、それだからこそ“自主的に学べる”会の存在意義は大きいと思います。
- ・授業の場所のみ要項に記載しているが協議の場所も記載してほしい。
- ・討議内容を詳しく書いたものを研究所（センター）に提出するようになっているが、「清水の教育」にすべて網羅されているので必要ないかと思う。

☆第1回小学校6年生交流会

22日（火）幡陽小学校において市内7小学校の6年生81名が一堂に会して「第1回小学校6年生交流会」が開催されました。今回は仲間づくりを目的に7校の担任がゲームを準備し、ペアやグループ、集団による仲間づくりに取り組みました。ゲームは「猛獣狩り&ダンス」「仲間探し&ボール運び」「フラフープくぐり」など盛りだくさんでした。最初はぎこちなく行動していた子どもたちも、一つ二つとゲームをこなしていくにつれ緊張もほぐれ、率先して指示する友だち、声かけする友だちなどなど必要以上しゃべらず、きびきびと行動ができていました。この取組を通して、この交流会の目標である、より多くの仲間と関わり合い、集団で活動する楽しさや意義を体験することができたと同時に、今後コミュニケーション力や協調性を身に付けることの必要性を感じ取れたのではないかと思います。



“話し合い”



“喜び合い”



“集団で楽しく”



“小中の先生たちも子どもたちも真剣！”
種目：「ビー玉つなぎゲーム」

